



ESASHI SHINKIN BANK

DISCLOSURE 2008

半期ディスクロージャー

江差信用金庫の経営内容について

(平成20年9月末現在)



■ごあいさつ

みなさまには、平素より私ども江差信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

当金庫の平成20年9月末における、主要計数、重要指標、地域貢献活動等についてお知らせいたします。

半期毎の情報開示につきましては、直近の経営実態をお取引先のみなさまにいち早くお伝えすることで、当金庫の健全性・安全性をご理解いただくために、開示させていただくものであります。

なお、今回公表させていただいた計数は、9月末時点において3月末決算とほぼ同様の決算処理を行い算出しておりますが、監査法人等の監査を受けていない計数であることをご承知おさください。

平成20年11月



江差信用金庫

理事長 渡邊 捷美



■ 主要勘定の状況

預金 138,206百万円 (年度初来 4,903百万円、3.67%の増加)

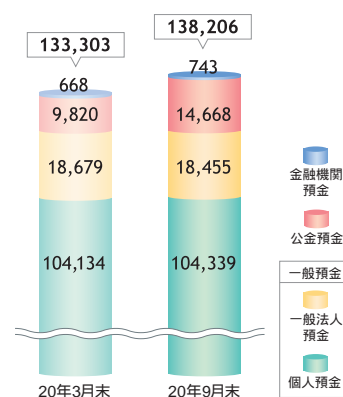
預金は、公金預金で20年3月末に一時引き揚げされた北海道預託金等の再預入ならびに指定金融機関を主体とした地方交付税などの滞留から大幅増加したことに加え、個人預金も堅調に推移したことから前期末対比で増加しました。

■ 預金人格別の状況

(単位:百万円)

	平成20年9月末(A)	平成20年3月末(B)	増減(A)-(B)
一般預金	122,794	122,813	19
個人預金	104,339	104,134	204
一般法人預金	18,455	18,679	223
公金預金	14,668	9,820	4,847
金融機関預金	743	668	75
合計	138,206	133,303	4,903

(注)預金は譲渡性預金を含みます。



貸出金 73,162百万円 (年度初来 535百万円、0.72%の減少)

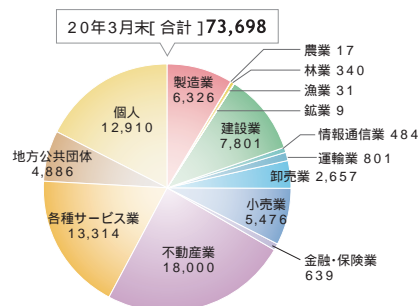
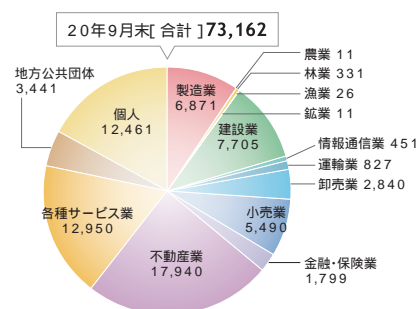
貸出金は、金融・保険業、製造業、卸売業を主体に運転・設備資金で増加がみられましたが、地方公共団体や各種サービス業の償還が高額となったほか、個人向け住宅ローンの需要低迷などから前期末対比で減少しました。

■ 貸出金業種別の状況

(単位:百万円)

	平成20年9月末(A)		平成20年3月末(B)		増減(A)-(B)	
	先数	金額	先数	金額	先数	金額
製造業	108	6,871	107	6,326	1	545
農業	4	11	5	17	1	6
林業	10	331	12	340	2	9
漁業	9	26	10	31	1	5
鉱業	1	11	1	9	-	2
建設業	243	7,705	244	7,801	1	96
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-
情報通信業	1	451	1	484	-	33
運輸業	35	827	37	801	2	26
卸売業	38	2,840	40	2,657	2	183
小売業	198	5,490	194	5,476	4	14
金融・保険業	10	1,799	10	639	-	1,160
不動産業	281	17,940	279	18,000	2	60
各種サービス業	310	12,950	313	13,314	3	364
地方公共団体	12	3,441	12	4,886	-	1,445
個人	4,040	12,461	4,148	12,910	108	449
合計	5,300	73,162	5,413	73,698	113	535

(注)記載金額単位未満および小数点第3位以下を切捨てて表示しております。





■ 損益の状況

20年9月期時点の損益は、「業務純益」284百万円、「経常利益」278百万円、「当期(半期)純利益」は240百万円となりました。

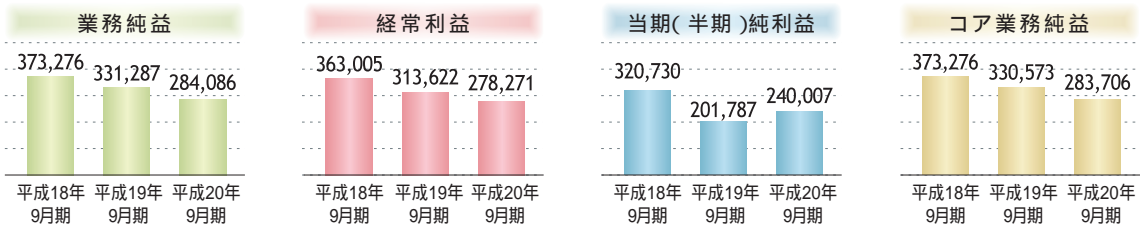
前年同月(19年9月期)比では、資金利益が9百万円増加したものの、金融市場の下落を受けて退職給付費用が35百万円増加したこと等を主因に「業務純益」で47百万円、「経常利益」は35百万円、それぞれ減少しました。

「当期(半期)純利益」は、過年度に引当てした貸倒引当金の戻入益もあり、38百万円の増益となりました。

(単位:千円)

	平成18年9月期	平成19年9月期(A)	平成20年9月期(B)	増減(B)-(A)
業務純益	373,276	331,287	284,086	47,201
経常利益	363,005	313,622	278,271	35,351
当期(半期)純利益	320,730	201,787	240,007	38,219
コア業務純益	373,276	330,573	283,706	46,867

(単位:千円)



■ 保有有価証券の状況

有価証券運用は、格付けの高い国債・公社債等を中心に各種リスクに配慮した安全な運用に務めており、20年9月末における有価証券の保有状況は以下の通りであります。

(1) 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成20年9月期					平成20年3月期	
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	差額	
国債	9,615	9,798	183	189	6	331	
政府保証債	2,497	2,519	21	24	3	49	
外国証券	3,000	2,756	243	-	243	89	
合計	15,113	15,074	38	214	253	291	

(2) その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成20年9月期					平成20年3月期	
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	評価差額	
国債	9,639	9,467	171	49	221	63	
地方債	1,489	1,497	8	9	0	16	
社債	政府保証債	1,617	1,639	21	23	1	40
	金融債	6,170	6,128	41	15	57	11
	事業債	1,100	1,101	1	1	0	3
その他	投資信託	1,354	1,125	228	15	244	165
	優先出資証券	343	325	18	-	18	26
合計	21,714	21,285	429	114	543	130	

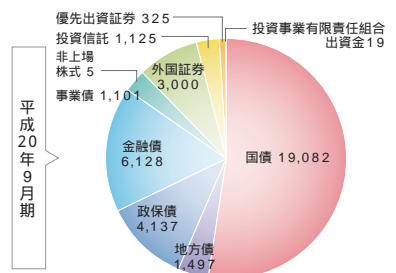
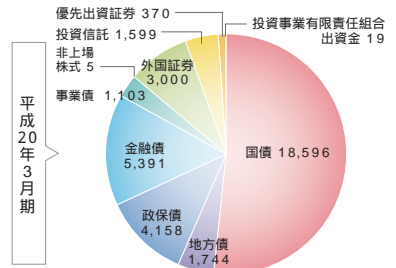
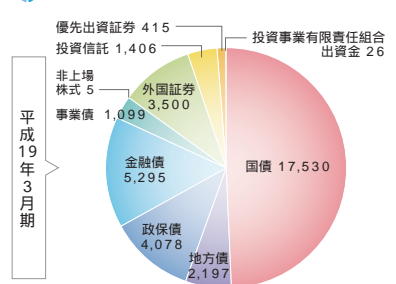
(3) 時価のない有価証券

(単位:百万円)

非上場株式	5
投資事業有限責任組合出資金	19

(注)記載金額単位未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表計上額(単位:百万円)



自己資本の状況

自己資本の構成

前期末(20年3月期)に比べ、「自己資本総額」は期間収益相当分の240百万円が積増しされましたが、金融市場の下落に伴う保有有価証券の評価損増加により46百万円の増加に留まりました。

分母となる「リスク・アセット等」も、預金増加に伴う運用資産の増加等から2,073百万円増加し、「自己資本比率」は0.61%低下しました。

自己資本比率の算出方法

自己資本比率は、自己資本額を分子とし、リスク・アセットを分母として算出します。分母となるリスク・アセットは、資産ごとの回収リスクに応じて算出することになっており、現金や国債などの回収リスクの少ない資産は分母に入れなくてもよいことになっています。また、平成19年3月期より適用された新自己資本比率規制により、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除した値をリスク・アセットに加えて算出しております。

(単位:百万円)

項目	平成19年3月期	平成20年3月期	平成20年9月期
基本的項目(A)	13,494	12,920	12,954
出資金	369	368	369
利益準備金	369	369	369
特別積立金	12,730	12,250	12,250
次期繰越金	47	22	262
その他有価証券の評価差損()	21	89	296
補完的項目(B)	397	389	402
一般貸倒引当金	515	624	422
補完的項目不算入額()	118	235	20
自己資本総額[(A)+(B)](C)	13,891	13,309	13,356
リスク・アセット等計(D)	63,609	62,261	64,335
資産(オン・バランス)項目	57,986	57,079	59,198
オフ・バランス取引項目	499	398	353
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	5,122	4,783	4,783
単体Tier1比率(A/D)	21.21%	20.75%	20.13%
単体自己資本比率(C/D)	21.83%	21.37%	20.76%

(注)信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

自己資本の充実度に関する事項

自己資本の重要性

金融機関は、預金や自己資本を資金調達の源泉とし、貸出金や有価証券などの資産を保有・運用しております。預金などは将来必ず支払うべきものですが、運用している資産に貸倒などの損失が大量に発生しますと、お預かりしている預金の支払いが出来なくなる可能性があります。

自己資本は、このような損失の発生に対する蓄えとしての役割を果たしてくれるもので、自己資本比率が高いことは、損失の発生可能性がある資産に対して自己資本という蓄えを多く持っており、安全性が高いこととなります。

(単位:百万円)

項目	平成20年3月期		平成20年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ.信用リスク・アセット・所要自己資本の額合計	57,477	2,299	59,551	2,382
標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	57,477	2,299	59,551	2,382
()ソブリン向け	522	20	512	20
()金融機関等向け	8,641	345	10,395	415
()法人等向け	23,004	920	22,886	915
()中小企業等・個人向け	4,949	197	5,107	204
()抵当権付住宅ローン	3,316	132	3,022	120
()不動産取得等事業向け	8,810	352	9,548	381
()三月以上延滞等	264	10	355	14
()その他上記以外	7,968	318	7,724	308
証券化エクスポージャー	-	-	-	-
ロ.オペレーショナル・リスク	4,783	191	4,783	191
ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ)	62,261	2,490	64,335	2,573

(注)1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会及び漁業信用基金協会のことです。

4. 「三月以上延滞」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

5. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

$$\text{オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法} = \frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

(注)記載金額単位未満および小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



■ 開示債権の状況

不良債権は平成20年3月末に比べ17百万円増加しております。

(1) 金融再生法ベースの債権区分による開示

(単位:百万円)

区 分	平成20年9月末(A)	平成20年3月末(B)	増減(A)-(B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,179	476	703
危険債権	2,424	3,109	684
要管理債権	165	166	1
小計	3,769	3,752	17
正常債権	69,857	70,451	593
合計	73,627	74,203	576

(注)1. 3月末の自己査定をベースとして、簡便的な債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になった債権および期間中の回収額を反映させております。
2. 貸出金のほか債務保証見返(代理貸付等に伴う保証)、未収利息および与信に関連する仮払金を含めております。

(2) 開示債権区分毎の保全状況

(単位:百万円)

区 分	平成20年9月末(A)	担保・保証による保全(B)	貸倒引当金(C)	(A)-(B)-(C)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,179	674	504	
危険債権	2,424	1,977	441	5
要管理債権	165	69	49	45
小計	3,769	2,722	996	51
正常債権	69,857			
合計	73,627			

(注)1. 担保・保証による保全(B)には、3月末から基準月末における担保劣化あるいは保証の見直し等に伴う変動額を反映させております。
2. 貸倒引当金(C)は3月末から基準月末の間で債務者区分の下方変更および担保・保証の見直しに伴って発生する必要額を見積もった額で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」について個別貸倒引当金を、また、要管理債権については貸倒実績率に基づき算定した一般貸倒引当金を計上しております。

■ 信用リスクに関する状況

(1) 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位:百万円)

		期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	平成19年度	515	108			624
	平成20年度	624	205			419
個別貸倒引当金	平成19年度	286	575	10		852
	平成20年度	852	94			946
合計	平成19年度	802	684	10		1,476
	平成20年度	1,476	110			1,365

(2) 業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等






(単位:百万円)

	個別貸倒引当金										貸出金償却	
	期首残高		当期増加額		当期減少額				期末残高			
	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度
製造業	103	270	177	26	9				270	296		
農業	1	1	0						1	1		
林業												
漁業		7	7	1					7	6		
鉱業												
建設業	13	284	270	17					284	301		
電気・ガス・熱供給・水道業												
情報通信業												
運輸業												
卸売業・小売業	60	62	2	0					62	62	14	
金融・保険業												293
不動産業	38	15	23	1					15	14		
各種サービス	52	192	140	50	0				192	242		
国・地方公共団体等												
個人	16	17	0	2					17	19		
合計	286	852	575	94	10				852	946	308	

当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

(注)記載金額単位未満を切捨てて表示しております。

■ 上半期中の主なできごと(20年度)

年 月 日	内 容	
平成20年 6月 25日	第65回通常総代会を開催しました。(於:江差町 ホテルニューえさし)	
平成20年 7月 11日	第26回江差信用金庫ゴルフ大会を開催しました。 (於:アンビックス函館倶楽部GC 参加52名)	
平成20年 7月 19日 ~7月 20日	第8回江差信金杯 道南軟式少年野球大会を開催しました。 (於:上ノ国町 参加11チーム)	
平成20年 7月 31日	「振り込め詐欺」の被害増加に伴い、同詐欺の未然防止策の一環としてATM待受画面を更新し注意喚起を図りました。	
平成20年 8月 1日 ~8月 21日	社団法人しんきん保証基金が設立30周年事業の一環として小学生向けに制作した「金融・経済教育DVD」を、渡島・松山管内28の小学校に贈呈しました。	
平成20年 8月 18日	第27回江差しんきん年金友の会総会を開催しました。 ~アトラクション「小林幸子ショー」(於:函館市民会館 参加1,401名)	
平成20年 9月 6日	全店一斉防災訓練を実施しました。(各町消防署が協力)	
平成20年 9月 11日	第10回江差しんきん年金友の会パークゴルフ大会を開催しました。 (於:厚沢部町 参加93名)	

トピックス

地域貢献活動等のご紹介(平成20年4月から9月まで)

地域の皆さまに少しでもお役に立つため、各地域で行われている諸行事に積極的に参加・参画をさせていただいております。

【環境への取組】

- ・奥尻町・江差町・上ノ国町・松前町・福島町・八雲町・北斗市・函館市・乙部町の町内会を中心とした清掃活動へ参加し、町内・海水浴場等の一斉清掃活動を行いました。(本店・上ノ国・熊石・乙部・福島・奥尻・函館・松前・七重浜支店)
- ・「横網の里商店街組合花壇整備」に参加し、道の駅前へ花の植込み作業を実施しました。(福島支店)
- ・「信用金庫の日」(6月15日)に「第2回江差町 町民の森育樹祭」へ参加し、下草刈りを行いました。(本店営業部)

【地域行事への参加】

- ・「横網の里古里売店」「熊石あわびフェスティバル」「いか刺し祭り」「やるべ福島イカ祭り」「七重浜商店会納涼まつり」で販売等の手伝いをしました。(本店・熊石・福島・七重浜支店)
- ・「夫婦の手紙全国コンクール」の審査員を務め、表彰式では運営・会場設営の手伝いをしました。(松前支店)
- ・福島大神宮境内で行われた「女だけの相撲大会」の運営の手伝いをしました。(福島支店)
- ・「交通安全運動キャンペーン」に参加し、安全運転の呼びかけ等を実施しました。(本店・上ノ国・熊石・福島支店)
- ・その他、お祭りをはじめ各種イベントに積極的に参加しております。(全店)

【文化活動】

- ・町内在住アマチュアカメラマンの作品発表の場としてロビーを開放しました。(厚沢部支店)

【スポーツ振興への支援】

- ・「江差信金杯グランドゴルフ大会」に参加するとともに運営の手伝いをしました。(奥尻支店)
- ・「松山中学校野球大会」「江差信金杯 道南軟式少年野球大会」に審判団の一員として参加しました。(厚沢部支店)
- ・江差しんきん年金友の会支部行事「パークゴルフ」、「ゲートボール」大会を主催しました。(本店・熊石・厚沢部・福島・松前支店)

【寄 付】

- ・各地区で行われる祭りや行事に寄付を行いました。(本店・上ノ国・福島・奥尻・函館支店)
- ・町おこし事業として行われた「歴まち風呂敷の製作」事業の一部として、江差町歴まち商店街協同組合へ寄付を行いました。(本店営業部)
- ・ボランティア活動団体「松山南部ふれあい船の旅実行委員会」が主催する「福祉の集い ふれあい船の旅」へ寄付を行いました。(本店営業部)

【その他】

- ・「江差法人会乙部支部」の総会へ出席し「法人税」等の勉強会を受講しました。(乙部支店)
- ・渡島西部広域事務組合福島消防署職員による「AED」「心肺蘇生法」普通救命を受講しました。(福島支店)
- ・「ふくしま健康フェスティバル」町内医師による健康相談等の受付・案内係りとして手伝いをしました。(福島支店)

■ 店舗一覧

ATMのご利用時間について

(平成20年9月末現在)

		平日	土曜日	日曜日・祝日
本部	松山郡江差町字本町132番地 ☎0139-52-1030	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	9:00 ~17:00
本店営業部	松山郡江差町字本町132番地 ☎0139-52-1036			
本店営業部(店外ATM)道立江差病院		9:30 ~18:00		
上ノ国支店	松山郡上ノ国町字大留244番地の9 ☎0139-55-2616	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
熊石支店	二海郡八雲町熊石根崎町115番地の1 ☎01398-2-3026	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
乙部支店	爾志郡乙部町字緑町399番地の1 ☎0139-62-2034	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
厚沢部支店	松山郡厚沢部町新町92番地の2 ☎0139-64-3231	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
福島支店	松前郡福島町字福島53番地の1 ☎0139-47-2022	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
奥尻支店	奥尻郡奥尻町字奥尻809番地 ☎01397-2-2525	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
奥尻支店(店外ATM)奥尻町総合研修センター(青苗地区)		9:30 ~17:00	9:30 ~17:00	
函館支店	函館市松陰町23番4号 ☎0138-53-3221	8:45 ~19:00	9:00 ~17:00	9:00 ~17:00
松前支店	松前郡松前町字福山50番地の1 ☎0139-42-2727	8:45 ~18:00	9:00 ~17:00	
七重浜支店	北斗市七重浜2丁目28番11号 ☎0138-49-1671	8:45 ~19:00	9:00 ~17:00	9:00 ~17:00
七重浜支店(店外ATM)ラルズマート久根別店		9:00 ~19:00	9:00 ~17:00	9:00 ~17:00

(注)正月三が日は全コーナー共稼働いたしていません。

当金庫では全店に現金自動預払機(ATM)を2台以上設置し、待ち時間の短縮に努めております。ゆうちょ銀行とのオンライン提携により、全国のゆうちょ銀行・郵便局(株)及び当金庫のATMで双方のキャッシュカードの利用(入金・出金・照会)ができます。全国のセブン・イレブン等に設置されているセブン銀行のATMで、当金庫のキャッシュカードの利用(入金・出金・照会)ができます。当金庫が設置したATMで、当金庫発行のキャッシュカードご利用のお客さまを対象として、土曜日の時間外手数料(出金取引・14:00~17:00)、日曜日・祝日(終日)は無料としております。